

## 序

農業関係試験研究機関の再編整備により、農業環境技術研究所が設立され、新しく「農業環境」の試験研究推進分野が発足した。昭和58年12月のことである。同時に、「農林水産研究基本目標」と「農業関係研究目標」の決定をみたところである。

農業環境の分野を農業関係研究目標によって位置付けるならば、①環境要因の体系的解明、②環境生物の管理利用技術、③化学物質の環境保全的利用技術、④生態系の制御技術、⑤環境資源の維持と保全機能の増進、⑥総合環境管理・保全技術の各大課題の内容はほとんどが「緑資源の維持培養と環境の保全」を受けたものといえよう。農業環境分野には前記の6大課題のほかに、⑦地球規模の環境変化への対応が加えられている。「地球的視野に立った農業の発展への貢献」を受けたものである。

この小冊子は、去る3月に開催された農業環境試験研究推進会議の評価情報部会に提出された多数の研究成果候補課題の中から、審議、検討の結果、選定した成果について、さらに表現を改めるなどして、編集したものである。多大の労を担われた関係場所の各位には謝意を表したい。

研究対象とするレベル — 例えば、地域の広がりの大小 — によって位置付けるべき大課題が異なるなどのために、本冊子の編成を、環境管理、環境資源、環境生物、および資材動態（末尾の付録参照）として便を計ることとした。第1集であるために、若干の不揃の点は残っているが、関係者の参考に供していただければ幸である。

昭和60年7月

農業環境技術研究所長 久保祐雄